

演 題	環境美化委員会の取り組み
副 題	縁の下の力持ちに支えられて・・・

フリガナ	カイゴロウジンホケンシセツ ハマナス
施 設 名	介護老人保健施設 はまなす
フリガナ	カイゴフクシシ オサダ ヨシコ
発表者(職名・氏名)	介護福祉士 長田 喜子
フリガナ	フクダ リッカ ホカ ハマナスシヨクインイチドウ
共同研究者	福田 六花 他 はまなす職員一同

<はじめに>

当施設的环境美化委員会は利用者様に心地良く、安心・安全に生活して頂けるよう活動している。この環境美化委員会の活動を支えているのが、はまなす独自の施設管理部であり当施設にとってなくてはならない縁の下の力持ちである。これまでの施設管理部との協力体制・日々の活動内容・成果をここに報告する。

[環境美化委員会の活動の目的]

1. 利用者様が心地良い空間で生活が送れること
2. 感染などを未然に防ぎ発症させないこと
3. 施設の清掃活動や節電・職員の清掃業務が滞ることの無いよう事前に掃除用具の確認や点検・補充
4. 車椅子の清掃・点検・修理
5. 更衣室・食堂・駐車場といった施設全体の清掃

[施設管理部とは]

以前は清掃業務を外部に委託していたがH28年度より施設管理部が発足した。男性職員6名、女性職員1名、計7名の職員が当施設内の清掃業務、営繕業務、運転業務等を行っている。

[取り組み]

- 1.委員会ミーティング並びに施設管理部との打ち合わせ。毎月1回各部署の環境美化委員・リハビリスタッフ・施設管理部で委員会を開催

毎月の営繕作業の報告と翌月の予定作業の確認

- 2.感染対策委員による抜き打ちでの施設ラウンドを報告。指摘された事をそのままにしておくのではなく委員会の場で対策方法を検討・確認し全職員へ対策方法を周知徹底する。

3.車椅子の管理

- ①利用者様の移動手段である車椅子が常に綺麗な状態が保てるよう定期的な清掃
- ②車椅子が定期的に洗えるよう環境美化委員で洗車表を作成し前日の晩に準備
- ③空気圧やブレーキの効き・ネジの緩み等の確認。各フロアで改善できる事はするが難しい点は施設管理部へ修理の依頼

4.毎食後のフロアの床清掃

施設内の感染症を未然に防ぐ為に床の清掃に力を入れている。食後は口腔ケア・トイレ誘導等介護業務に追われているため、施設管理部を中心に床の履き掃除・拭き掃除を行っている。また定期的なワック

ス掛けも行われている。

5.その他の活動

認知症専門棟ではカーテンを引っ張って外す、手すりを外す、壁紙を破いてしまう等利用者様の周辺症状による設備の破損も見られるが破損している箇所があれば環境美化委員から施設管理部へ依頼し補修する。業者に見積もり、依頼すると高額な費用、修理までの日数がかかってしまうところ当施設管理部は低コストかつ迅速に対応している。

[結果]

環境美化委員だけでは細部まで行き届かなかった清掃も施設管理部の協力の下、施設の様々な清掃がスムーズ且つ継続的に行われるようになった。感染対策委員の月1回のラウンドが意味のあるラウンドとなり指摘された箇所の清掃だけでなく様々な所へ目を向け施設全体を綺麗に保とうとする意識を持つようになった。

施設には90台近くある車椅子を月15台洗浄することが可能となり利用者様に安心・安全な車椅子に乗車してもらうことが出来ている。

フロアの床清掃がスムーズかつ継続的に行われ、また定期的なワックス掛けによって床からの感染を防止し綺麗な床を保つことが出来ている。外部の業者でないことから小さな傷や破損にも早急に対応出来ている。

このように施設管理部との連携によってインフルエンザ・ノロウイルスといった感染拡大の防止の担い手になっている。

[まとめ]

日々介護業務に追われる中、施設を綺麗に保つことは大変であるが感染を未然に防ぎ職員が働きやすい活動することが環境美化委員の役目であり、施設管理部は環境美化委員と施設を支える大きな架け橋である。環境美化委員と施設管理部が一致団結し職種は違うけれど利用者様・施設を思う気持ちが丸となりこのような協力体制を築き上げたことは当施設にとってとても良いことである。これからも縁の下の力持ちに支えられ利用者様が日々安心・安全・快適に過ごして頂けることを第一に考え今後も活動していきたい。

